

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士後期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	日本文学専攻
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	英 語	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
[I] 【出題の意図】 David Damrosch, <i>What Is World Literature</i> (2003) 中の一節からの部分役問題。原文は、著作権保護された、文法的にも語彙的にも比較的容易な英語です。日本文学研究にも重要と思われる national literature と world literature という視点を、ゲーテによる論に従って考察し、問題を提起する文章です。啓蒙期以降の文学における「普遍性」の認識、世界的近代性の萌芽、そしてそれが現代に問いかける問題への理解が訳に反映されているかを問います。 【採点時の観点】 日本語原文の再現は求めません。1) 構文理解、2) [辞書使用＝可] なので、文脈に沿った語義選択技術、3) 当該一節の文脈・状況の理解が充分推量できる程度の日本語運用能力——を評価しました。					
[II] 【出題の意図】 Seiji M. Lippit, <i>Topographies of Japanese Modernism</i> (2002) においてモダニストとしての川端康成による『浅草紅団』を論じた文章からの一節を引き、下線部のみの和訳を求めることで、英語の基本的読解力を評価することが狙いです。原文は、著作権保護された、文法的にも語彙的にも比較的容易な英語です。大衆文化との接触を契機とした、モダニスト川端の従来の小説構成への挑戦が読み取れているかどうかの評価上重要となる点のひとつです。 【採点時の観点】 文体や語彙の点で「こなれた」和訳は求めません。1) 構文理解、2) [辞書使用＝可] なので、文脈に沿った語義選択技術、3) 当該一節の文脈・状況の理解が充分推量できる程度の日本語運用能力——を評価しました。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は文学研究科のアドミSSIONポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。					
合否判定については、本研究科のアドミSSIONポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					